

## 2017年度第4回 日本学連幹事会 資料

開催日時：2018年(平成29年)3月8日(木曜日) 13:00~17:00

開催会場：栃木県日光市光 ホテルファミテック研修棟

議事録作成者：広報部長 坂野 翔哉 (東京理科大学)

### 議題

1. 今年度のまとめと来年度の展望 **【資料1】**
2. 35周年企画について、目安箱について
3. 技術委員会について
4. インカレ報告書
5. 日本版NCCA設立について
6. 会計報告
7. 後援大会申請について
8. 学連主催によるJOAインストラクタ講習会開催について **【資料2】**
9. 事業計画について
10. 各部局活動報告
11. 地区学連活動報告
12. 次回幹事会について

### 目次

<b>【資料1】</b> 1年間の取り組みのまとめ.....	2
<b>【資料2】</b> 学連主催によるJOAインストラクタ講習会開催について.....	3

## 【資料 1】1 年間の取り組みのまとめ

### 1 年間の取り組みのまとめ

文責瀬川出

#### ○学連加盟員の増加方法の模索

日本学連の仕事は、簡単に言えば「学生が楽しくオリエンテーリングができる環境づくり」です。

全日本大会の開催の継続がここ数年議題にあがり続けています。その議論を通じて、学生の数をもっと増やす活動をしなければ、いけないと考えるようになりました。人数がいる、マンパワーがある、参加者数が多い、といったことは、非常に重要なのです。安心して、インカレが、全日本大会が継続できる人数には、いまだに至っていないと言えます。そのために学生を増やす努力を続ける必要があります。

#### 直接新歓と関係ありそうなこと

- ・加盟校基準の引き下げ→3人
- ・加盟校登録費 0円化
- ・新歓サイトの設立

→課題:新年度初めて活用してみてどうなったか、どのような改善の余地があるか

#### オリエンテーリング環境の構築

- ・学連合宿の開催

→課題:いわゆる強豪校でない学校にももっときてほしい・関西地区での開催・スプリント合宿・合宿運営者増加

- ・インカレの発展

→別の議題とします

- ・全日本大会や公認大会への参加

→別の議題とします

#### 結局できてないこと/不十分だと思うこと

- ・学生大会への協力→運営ノウハウ共有/資材の貸し出し/渉外活動の共有

## 【資料2】学連主催による JOA インストラクタ講習会開催について

(現) 全日本大会コントローラの山川です。先日、全日本大会のことで、JOA 事務局と連絡を取り合った際に、1月の学連幹事会で話し合った今後の方向性(全日本21E資格にロングセレ免除を解消し、今後は学生の大会、特にセレは昨年12月の公認京葉大会にセレクラスを併設して公認大会資格も得られるようにした取り組み、これを今後学連としても積極的に推進していくことを確認した)を説明しました。それでそれならJOA事務局サイドより、学連主催のインストラクタ講習会を強く求められました。というのも京大京女大会・東工大大会・東大大会と今後も学生クラブ主催大会の公認大会化の流れも進んできていますが、本来ならクラブ内部にインストラクタ(ディレクタ)を置くことが義務付けられています。それを学生主催大会は、非存在でも大目にみることで認可しているとのことで、そういう流れなら、学生のレベルアップと全日本を見据えた全体のステージアップは同じ方向性を持つと言う意味でも的確な施策であると考えます。

案内ページは

<http://www.orienteering.or.jp/leader/director.php>

ですが、コントローラ講習会はJOA自らが企画し、カリキュラムを組みますが、インストラクタ講習会は、県協会などが主催し、(実習含めて)独自の内容も加えてよいとしています。

そこで私からの提案は、いっそのこと学連加盟クラブ、およびその関係組織(インカレ実行委員会等)の関係者は参加費無料・交通費も支給で開催してはどうか、という提案です。(それ以外の参加者は参加費徴収します)

そうなるとうちに確実に総予算20万円越えますので、総会決議事項になりますが、このアイデアはスピード感を持って行った方が、1月の幹事会議論の内容も後に活きるし、全国どこにクラブが立地していても差異がなく受講できるというのは画期的な案だと思うのですがいかがでしょうか?幹事会1回開催するのにも20万以上かかりますから、この策は学連のプール金の極めて有効な使い方だと思います。

ついでにはこれだけの資料ではまだ総会で議論には早急かとも思いますので、以下のように進めてははいかがでしょうか?

1. 今回の総会で基本理念のみ採択する

2. 6月幹事会までに、カリキュラム・講師選定・その予算書などを確定させ、幹事会資料に2週間前までに掲載して検討する時間を確保する

3. その内容でもって幹事会で議論検討して決する

開催時期は8月、場所はヤマカワハウス(なので宿泊費も掛からない。参加者負担は光熱費と食費のみ)を考えています。秋の公認大会から早速大手をふってインストラクタ在の学生大会ばかりになり、OL界全体がシステマ的にも良い方向を向いていくのではないかと考えます。

尚、参考までに本日づけて次期プロデューサーが任命されましたら、その応募書類に、全日本でセレは併催しないと名にかけています。